

慶雲寺報

NEWS

★ 本堂屋根改修について

近年、堂内への雨漏り、瓦の剥離破損等が頻繁にみられるようになっておりました。

先の理事会・役員会にお諮りしたところ、お檀家の皆様が信仰を寄せる建物をしっかりと保全するため、本堂屋根の葺き替え工事に着手する旨の決議をいただきました。幸い、構造材の目立った傷みはなく、屋根耐久性向上、重量負荷軽減の観点から銅板屋根への葺き替えとすることになりました。

＊ ＊ ＊

工期は、春彼岸会以降約4か月となり、お盆前には終了の見込みです。期間中ご法事等は変わらず勤められますが、日程面の調整をお願いする場合もございますので、予めご了承ください。

大事業となり、お参りの際にご不便をおかけするかもしれませんが、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。



◎行事のご案内

★ 3/12 禅をきく会

曹洞宗関東管区教化センター主催の行事です。禅のお話を聞き、いす坐禅の体験ができます。

日時 3月12日(木)

13時10分～16時50分

場所 大宮ソニクシティ大ホール

内容

＊講演「死ぬことから考える生き方」

ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 金子稚子 氏

＊講演「ブツダと共に祈る」

大本山永平寺西堂 奈良 康明 老師



《入場無料》

事前申し込み不要です。どうぞお気軽にお出かけ下さい。

＊ 写真展 ブツダのことはとインドの風景

今を生き抜くために

釈尊の足跡をたどった写真と、中村元博士の『ブツダのことは』を融合した、仏教伝道協会設立50周年事業としての展示会です。

期間 3月10～29日

場所 東京丸の内 東京国際フォーラムB1

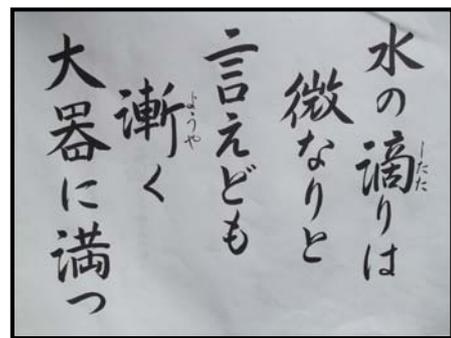
相田みつを美術館第2ホール

入場無料

都内へお出掛けの際、足を運んでみてはいかがでしょうか？

◎伝道揭示板から

ポタリ、ポタリと蛇口から滴る水。皆様も経験からご存知のように、一滴一滴はわずかな量といえども、長い時間を重ねると桶から溢れんばかりの量になります。經典



でもこの喩えになぞらえて、善きことを少しずつ少しずつ積み重ねていけば、必ずや揺るぎない自信と安らぎを手にすることができると言い、「精進を勤める」ことの大切さが説かれていきます。

また、禅では行い持続するという意味で「行持(ぎょうじ)」という言葉をよく使います。道元禅師は「行持これ世人の愛処にあらざれども、諸人の実なるべし」と示し、人の好むところではないが、行持によって人は真の拠り所を得ると示されています。

子供の頃、学校の先生から「継続は力なり」と教えられ、三日坊主の悪癖を出さぬよう、机の前に紙に書いて貼っていたことが思い出されます。我が身の器にはまだまだ余裕があるようです。今や張り紙はありませんが、一滴一滴の積み重ねを大切にしていきたいと存じます。

平成二十六年年度護持会決算

別紙決算書の通り、2月7日開催の役員会にて承認されました。ご報告申し上げます。平成二十七年会費につきましても、3月末日までに納入をお願いいたします。